

令和6年8月19日

課名 農林水産局農業技術課

担当者 課長 柴山

内線 3556

課名 商工労働局イノベーション推進チーム

担当者 担当課長 矢野

内線 3350

広島バイオフィォーラムの開催について

1 要旨・目的

県内のバイオ産業に関する研究や企業活動で得られた成果を事業者や業界等、県民に広く紹介するため、広島バイオフィォーラムを開催する。

2 現状・背景

広島バイオテクノロジー推進協議会（事務局：農業技術課）は、会員や県内事業者等への最新の技術情報及び交流の場の提供を目的に「広島バイオフィォーラム」を毎年開催し、情報交流、人材育成、開発技術の活用などに取り組んでいる。

また、県では令和4年度から「バイオエコノミー産業創出支援事業費補助金」により、会員企業の研究開発を支援している。

3 概要

(1) 実施主体

広島バイオテクノロジー推進協議会

(2) 実施日時

令和6年9月12日（木）13:30～17:00

(3) 会場

広島大学東千田キャンパス地域連携フロア SENDA LAB（広島市中区東千田町1-1-89）

(4) 演題（予定）

テーマ：広島発のバイオ技術～技術確立から社会実装まで～

ア 哺乳類の雌雄比が1：1となる仕組み

イ 健康長寿社会の実現に向けた植物乳酸菌による発酵技術開発

ウ 凍結含浸法の開発と活用事例

エ 大崎上島における微細藻類研究拠点の紹介

オ バイオDXによるデータ駆動型ゲノム育種技術の開発

カ 三島食品の赤紫蘇に対するこだわり

4 広島バイオテクノロジー推進協議会について

県内の産学官の緊密な連絡協調により、バイオテクノロジーの積極的な開発、普及を図ることによって、広島県の産業振興と県民生活の向上に寄与することを目的に昭和60年に設立された。会長は江坂宗春氏（広島大学名誉教授）が務め、令和6年6月現在の会員数は140（企業・団体等72、教育機関23、国及び地方公共団体等22、個人23）。

県は令和6年度予算で65万円を活動費として支援している。

5 関連情報

広島バイオテクノロジー推進協議会ホームページ

<https://inst-prev-med.hiroshima-u.ac.jp/bio/>

広島バイオテクノロジー推進協議会 令和6年度広島バイオフォーラム

テーマ：広島発のバイオ技術

～技術確立から社会実装まで～

広島バイオテクノロジー推進協議会では、バイオテクノロジーに関する情報提供や参加者の交流を目的として「広島バイオフォーラム」を開催しています。今回は、県内の大学や研究機関の研究成果や産学官が連携した社会実装の取組を紹介します。

[日時] 令和6年9月12日（木） 13:30～17:00

[場所] 広島大学 東千田キャンパス 地域連携フロア SENDA LAB
(公共交通機関をご利用ください)

参加費
無料

プログラム

13:30 ～ 13:40	開会あいさつ
講演 13:40 ～ 15:00	「哺乳類の雌雄比が1:1となる仕組み、 ～動物性たんぱく質の供給に寄与する新たな家畜の雌雄産み分け法～」 広島大学 大学院統合生命科学研究科 教授 島田 昌之 氏
15:00	「健康長寿社会の実現に向けた植物乳酸菌による発酵技術開発」 広島大学 未病・予防医科学共創研究所 所長・名誉教授 杉山 政則 氏
15:00 ～ 15:10	休憩
15:10 ～ 15:20	「広島県におけるバイオテクノロジーに関する支援制度の紹介」 広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム (医工連携推進担当)
事例紹介 15:20 ～ 17:00	「凍結含浸法の開発と活用事例」 広島県立総合技術研究所 食品工業技術センター 研究員 下久 由希
	「広島県大崎上島における微細藻類研究拠点のご紹介」 一般社団法人日本微細藻類技術協会 事務局長 野村 純平 氏
	「バイオDXによるデータ駆動型ゲノム育種技術の開発」 広島大学 大学院統合生命科学研究科 教授 坊農 秀雅 氏 フマキラー株式会社 開発研究部 藤井 裕城 氏
	「三島食品の赤紫蘇に対するこだわり～バイオテクノロジーを活用して～」 三島食品株式会社 研究所 アシスタントマネージャー 永田 千夏 氏 広島県立総合技術研究所 農業技術センター 主任研究員 松下 修司
17:00～	閉会あいさつ 名刺交換会(任意)

アクセス方法



《公共交通機関ご利用の場合》

(バス・電車：「日赤病院前」で下車)
広島駅から …… 電車で約30分
バスで約15分
タクシーで約10分
広島空港から … リムジンバスで約75分
(「広島空港」から「広島バスセンター」
までリムジンバス乗車。「広島バスセン
ター」から徒歩で市内電車「本通」より
乗車「日赤病院前」下車)

《お車ご利用の場合》

●大学構内の駐車場は利用できません。
周辺の駐車場をご利用ください。

参加申込

令和6年9月10日(火)までに、次のURLからお申し込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=19533

こちらの二次元コードからでも登録できます ⇒



申込フォームから申込みができない場合は、

次のアドレスから申し込んでください。

nougijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

※ご提供いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づいて管理し、本フォーラム開催の利用目的以外で利用することはありません。

- 県内にお住まい、お勤めの方、誰でも参加できます！
- フォーラム終了後に、参加者の交流の場を設けます。
- 積極的にご参加いただき、皆さんとの交流を深めてください。

広島バイオテクノロジー推進協議会では会員を募集中です。

広島バイオテクノロジー推進協議会では、会員を募集中です！

入会希望の方は、お気軽に事務局までお問い合わせください。会費は無料です。

協議会について

県内の産学官の緊密な連絡協調により、バイオテクノロジーの積極的な開発、普及を図ることによって、広島県の産業振興と県民生活の向上に寄与することを目的に昭和60年に設立されました。

会長は江坂宗春氏(広島大学名誉教授)が務め、令和6年6月現在の会員数は140(企業・団体等72、教育機関23、国及び地方公共団体等22、個人23)となります。

協議会会員のメリット

県商工労働局イノベーション推進チーム(医工連携推進担当)が所管する補助金の応募資格を有するとともに、内閣府が認定した「地域バイオコミュニティ」である「ひろしまバイオDXコミュニティ(ネットワーク機関：一般社団法人バイオDX推進機構)」に参画しており、ゲノム解析・編集技術を活用した新たなビジネスチャンスにつながります。また、バイオテクノロジーに関する情報提供や会員同士で交流する機会があります。

主催
問い合わせ先

広島県 農林水産局 農業技術課(広島バイオテクノロジー推進会 事務局)

【電話】082-513-3559(担当：伊藤)

【メール】nougijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

